

資料3

<><><><><><><><><><><><><>

砺波市行政改革報告書 (令和7年度)

<><><><><><><><><><><><>

この報告書は、砺波市行政改革大綱に掲げる実施項目に関し、令和7年度に実施又は実施を予定している事項について記載しています。

令和7年10月

令和7年度 行政改革・事務改善事項

1 市民の視点に立った協働の「まちづくり」の推進

実施項目	取組事項	取組状況
(1) 市民や地域との協働の推進	地域ぐるみ除排雪の推進	【土木課】 地区除雪委員会未設立地区の設立へ向けての支援を行い、地域ぐるみ除排雪の推進を図る。

2 時代の変化に対応した効果的で質の高い「行政サービス」の推進

実施項目	取組事項	取組状況
(2) 事務事業の効率化・適正化と働き方改革の推進	(新規) 電子納品の導入	【財政課】 市が発注する工事及び業務に関し、電子データで写真等の成果品を納入できるようことで、受注者及び職員の事務効率化を図った。
	(新規) 重度心身障害者等医療費助成（重中度65歳以上）の現物給付化	【社会福祉課】 令和7年8月診療分から現物給付化したことにより、窓口での申請が不要となり、市民の負担軽減を図った。
	(新規) 高齢者福祉施設等利用券の制度見直し及び利用施設等の拡充	【社会福祉課】 「高齢者福祉施設等利用券」から「高齢者おでかけ支援券」へ名称変更を行うとともに、従来の定額負担（150円）から定額割引（200円）に制度を変更することで、助成額の公平性を確保し、加えて利用できる事業や施設を拡充し、高齢者の外出支援を図った。
	(新規) 胃・肺・大腸がん検診の同時実施	【健康センター】 医療機関で胃・大腸・肺がん検診を同時に受診できる体制を整備し、市民の利便性の向上を図った。 また、検診業務を委託することで職員の事務の軽減を図った。
	(新規) 出生連絡票に係る電子申請の導入	【健康センター】 出生連絡票の提出方法をこれまでのはがきの投函に加え、電子申請システムによる申請を開始し、申請者の利便性向上を図った。 〔8月31日時点 電子申請 42件 ハガキ（紙）50件〕
	(新規) 帯状疱疹任意予防接種助成券申請に係る電子申請の導入	【健康センター】 助成券の申請方法を窓口申請と電子申請システムの2通りとし、申請者の利便性向上を図った。 〔8月31日時点 電子申請 23件 窓口（紙）13件〕
	(新規) 高額療養費支給申請手続きの簡素化の導入	【市民課】 国保被保険者世帯を対象に簡素化希望申請の受付を開始し、登録した方に対し自動支給することで、申請者の事務効率化を図る。
	(新規) 出生時のマイナンバーカード交付申請の推進	【市民課】 出生届の提出に併せたマイナンバーカードの交付手続について、ホームページでの周知や出生届の受付時に説明を行う等、手続簡略化の推進を図った。

令和7年度 行政改革・事務改善事項

実施項目	取組事項	取組状況
(2) 事務事業の効率化・適正化と働き方改革の推進	(新規) 出産祝い品のリニューアル	【市民生活課】 出産祝い品について、若者のニーズに対応するためこれまでの「オリジナルスタイル」から各メーカーのおむつを詰め合わせた「お試しおむつセット」に変更し事業の見直しを図った。
	(新規) 農地中間管理事業の手続き等の見直し	【農業振興課】 農地の賃貸借の更新手続きに際し、耕作者が農地所有者ごとに申込用紙を提出していたものを市が作成した一覧表によりまとめて提出できるよう見直したことにより、耕作者の更新手続きの簡素化及び事務負担の軽減を図った。 また、提出後の事務処理についても見直しを行ったところであり、今後耕作者にとって更なる事務負担の軽減を図る。
	(新規) 契約手続の簡略化	【都市整備課】 都市公園の維持管理において、地元自治会等との契約手続を長期継続契約とすることで維持管理者及び職員の事務負担の軽減を図る。
	(新規) 営繕システム（RIBC）の導入	【都市整備課】 営繕システム（RIBC）を導入し、職員の建築工事に係る積算業務の効率化を図る。
	(新規) 通知方法の見直し	【都市整備課】 市営住宅使用料（家賃）通知について、これまでポスト投函を3回行っていたもののうち、2回は郵送へ切り替えたことにより、職員の事務負担の軽減を図った。
	(新規) 水道台帳及び受益者負担金（分担金）台帳のデジタル化の検討	【上下水道課】 紙ベースでファイリングされている水道台帳等のデジタル化に向けて検討を行い、文書量の削減及び事務効率化を図る。
(3) 民間活力の更なる活用	人工衛星とAIを活用した漏水調査の実施	【上下水道課】 人工衛星とAIを活用した漏水調査を行い、漏水可能性エリアを絞り込むことで、音聴調査の効率化を図り、早期の漏水発見及び修繕を行う。
(4) ICT（情報通信技術）の有効活用	(新規) 被災者生活再建支援システムの導入	【税務課】 被災者生活再建支援システムを導入し、災害発生時に現地調査から罹災証明書の発行までの迅速化及び調査前の資料準備や帰庁後の写真取り込み等の作業の簡素化を図る。
	(新規) 訪問介護業務等記録ソフト導入	【高齢介護課】 ヘルパーの訪問介護業務に係る訪問記録をスマートフォンから作成できるソフトを導入し、ペーパーレス化の推進及び事務の効率化を図る。

令和7年度 行政改革・事務改善事項

実施項目	取組事項	取組状況
(4) I C T（情報通信技術）の有効活用	(新規) 健康情報の提供方法の見直し	【健康センター】 紙媒体での提供方法を見直し、二次元コードによる情報提供も行うことで、経費の削減を図った。
	(新規) 消雪施設管理台帳の電子化	【土木課】 市が管理する消雪施設（ポンプ260か所）の修繕履歴や配管の系統図（路線図）を明記した紙ベースの台帳を電子化し、業務の効率化を図る。
	水道スマートメーター導入によるメーター検針の効率化	【上下水道課】 令和7年9月末までに水道スマートメーター4件を設置し、遠隔通信により検針データを確認することで、メーター検針業務の効率化を図る。
	郷土資料館収蔵品に係るデータ化の推進	【郷土資料館】 収蔵する民具・古文書・地図・図書をデータ化し、検索を簡素化するとともに、市HP「砺波正倉」等への資料公開に追加した。 また、民具の用途や製作等に係る映像を撮影し記録保存を図るとともに、情報提供を行った。 ・図書1件をデータ化し、市HP「砺波正倉」で公開 ・地域の祭りや収蔵する民具の取り扱いについて、3件の映像等を撮影

3 健全で持続可能な「財政運営」の推進

実施項目	取組事項	取組状況
(1) 健全な財政運営の推進	公共施設等の照明のLED化（小中学校、認定こども園、庄川支所、都市公園）	【財政課・各課】 消費電力を削減し、CO ₂ 排出量及び維持管理費の低減を図るため、照明のLED化を進めている。なお、10年間のリース方式とすることで、財政負担を平準化している。
	(新規) 庄川健康プラザの経費の節減	【庄川健康プラザ】 プール施設において、利用者がいない時間帯やプール室が高温多湿状態の場合に、ジャグジー・バスのプロアーポンプを停止した。 また、施設照明のLED化に伴い、照度がアップした場所は、利用状況に応じて点灯を抑えるなど調整を図り更なる節電に努めた。 8月31日時点 使用電力を月平均約7%節減（約750kwh）
	伐採木の無料配布	【都市整備課】 砺波チューリップ公園南門周辺再整備において伐採した樹木の有効利用を図り、処分費の経費を削減する。
(2) 公共施設等の最適化と計画的な更新	(新規) 通学路の安全対策基準の作成	【土木課】 地域や学校等からの歩車分離されていない通学路での路肩カラー舗装等の要望に対して、整備範囲や手法等を明確にした市の安全対策基準を作成し、運用を開始した。

令和7年度 行政改革・事務改善事項

実施項目	取組事項	取組状況
(2) 公共施設等の最適化と計画的な更新	消雪施設長寿命化修繕計画策定業務	<p>【土木課】 消雪施設の計画的な修繕又は更新を実施するため計画を策定し、不具合が生じてから対策を講じる「事後保全型」から不具合が発生する前に対策を講じる「予防保全型」へ転換することで、サイクルコストの縮減と事業費の平準化を図る。</p>
	(新規) 社会教育施設運営の見直し	<p>【生涯学習・スポーツ課】 これまで砺波市文化会館は生涯学習・スポーツ課が、砺波農村環境改善センターは農業振興課が所管していたが、利用者目線に立った施設運営の実現と、効率的な施設管理を図るため、両施設の所管を生涯学習・スポーツ課に一本化した。</p>
	(新規) 児童館及び子育て支援センターの機能移転	<p>【こども課】 市内の大型商業施設内に出町児童センター、出町子育て支援センター及び北部子育て支援センターの機能を移転・集約し、運営の効率化及び利用者の利便性の向上を図る。</p>
	(新規) 児童遊園のあり方の検討	<p>【こども課】 市内の児童遊園（計4か所）について、利用者が周辺住民に限られていることから、地元自治会等への譲渡又は廃止に向けた調整を行う。</p>
(3) 自主財源の確保と創出	コンビニ収納及びスマホ決済の実施	<p>【税務課・上下水道課】 コンビニ収納及びスマホ決済など多様な納付方法を提供し、更なる利用者のサービスと収納率の向上を図っている。 (8月31日時点 税務課 約19,000件 上下水道課 約5,300件)</p>
	(新規) 空き家啓発チラシへの広告掲載	<p>【市民生活課】 固定資産税納税通知書に同封する空き家啓発チラシへ民間広告を掲載することで、チラシ作成にかかる費用の削減を図った。</p>
	(新規) 自主財源確保による持続可能な観光イベントに向けた収益化事業への取組	<p>【商工観光課】 持続可能な観光及び地域イベントの開催を目的に、民間活力を活かした収益化に取り組み、自主財源を確保している。 (となみ夜高まつり、庄川観光祭、となみ夢の平コスモスウォッティング)</p>
	(新規) 剪定枝リサイクルプロジェクトの推進	<p>【農地林務課】 「剪定枝リサイクル大作戦」で収集した剪定枝から製造された堆肥の活用について、日本横断型資源循環プロジェクトと連携することにより、堆肥の利用拡大及び自主財源の確保を図る。 (東京臨海副都心まちづくり協議会との包括連携協定の締結に向けて協議中)</p>
	マイクロ水力発電による売電収入	<p>【上下水道課】 上中野配水場マイクロ水力発電所において発電を実施し、売電収入を確保している。 (8月31日時点 売電収入額3,425千円)</p>

令和7年度 行政改革・事務改善事項

実施項目	取組事項	取組状況
(3) 自主財源の確保と創出	(新規) 行政視察の有料化	【議会事務局】 本市に行政視察に来る自治体等に対して条件を付けての有料化について検討し、自主財源の確保を図る。
(4) 公営企業等の経営戦略の推進	病院事業の経営戦略の推進	【砺波総合病院】 市立砺波総合病院経営強化プランに基づく病院経営の実施と検証を行い、持続可能な地域医療提供体制の確保を図る。